

会員の皆様へ

---群馬中小企業家同友会 経営労働部会 主催---

第25期「経営指針をつくる会(短縮版)」参加者募集

～新型コロナウイルスから会社を守るために！～

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、今期は例年の開催方法（1泊2日／全6講）を変更し、第25期『経営指針をつくる会（短縮版）』として開催させていただきます（例年の開催方法での参加を予定していた皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご了承ください）。

開催概要は下記の通りです。ご参加を心よりお待ちしております。
群馬中小企業家同友会
経営労働部会長 戸塚美秀

■期 日 2020年8月～2021年1月にわたる全6講（半日×6回）

★各講とも午後1時～午後5時に開催を予定。

■会 場 同友会事務所・会議室

前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第2ビル4F TEL:027-232-0001

★定員を超える参加申込があった場合は会場を変更する場合があります。

- 参加条件
1. 是非とも「成文化」し、浸透させたいという強い熱意のある方
 2. 全日程に参加できる方（原則として）
 3. 自社の財務内容の必要な部分を公開できる方（秘密は厳守）

■受講料 1社1名：18,000円（全6講）

- ★申込者が都合で欠席となってしまう場合は、代理出席も可能です。
- ★前期からの連続参加者は、部分参加（1回／3,000円）も可能です。
- ★初参加者と連続参加者のプログラムを一部分けて実施します。

- 用意するもの 過去3年間の損益決算書、貸借対照表、減価償却明細書、得意先・商品別売上表、電卓、ノート、筆記用具 ほか

- 申込締切 一次〆切：7月17日 ■定員20名

- 申込方法 参加申込用紙にご記入の上、お早めにFAXにてご返送下さい。

- 振込先 申込後、受講料を下記口座にお振込みください。※受講料の返却はできません。
群馬銀行 片貝支店 [普]0296143 群馬中小企業家同友会
(振込手数料は貴社にてご負担ください)

- 持ち物・スケジュール等、詳細につきましては、後日、ご連絡致します。

【問合せ先】 群馬中小企業家同友会・事務局 TEL:027-232-0001 FAX:232-0666

● 第25期「経営指針をつくる会（短縮版）」日程と主な内容 ●

新型コロナウイルスの影響により、日程・プログラムなどが変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

講座・テーマ	日 時	主 な 内 容
★第1講★「財務分析」 --自社の体力は？--	8月7日(金) 13時～17時	・損益ストラック図の作成 ・財務分析と課題点の整理
★第2講★「SWOT分析」 --環境変化への対応--	9月11日(金) 13時～17時	・コロナによる経営環境の変化 ・自社の強み・弱みを把握
★第3講★「利益・資金計画」 --計画をシミュレート--	10月9日(金) 13時～17時	・利益・資金計画の立て方 ・予測変動損益計算書の作成
★第4講★「経営理念」 --何のための経営か--	11月13日(金) 13時～17時	・経営理念の検討 (科学性・社会性・人間性)
★第5講★「経営方針・経営計画」 --具体的な道筋--	12月11日(金) 13時～17時	・事業展開の方向性 ・中期・単年度の経営計画
★第6講★「まとめ」 --そして、実践へ--	1月15日(金) 13時～17時	・理念から計画までのまとめ ・経営指針書をどう活かすか？

《経営指針作成のメリット》

- ①企業経営に対する経営者の責務が明確になり、経営者自身の使命感、意欲を高めることができる。
- ②会社の目標が明確になり、社員のやる気を引き出し、企業全体のパワーアップがはかれる。
- ③企業の社会的役割、性格、将来ビジョンが明確になるため、社員が企業に誇りをもち、働く意欲を増進させる。
- ④企業で今後採用すべき人材と、社員教育の方向が明確になることから、社員が自主的に学ぶ気風を職場に定着させることができる。
- ⑤社内の信頼関係を強め、団結がより強固なものになる。
- ⑥顧客・取引先・銀行など対外的にも信頼を得ることができる。

第25期「経営指針をつくる会(短縮版) 参加申込用紙

会 社 名	役 職	氏 名	備 考

★定員を超える参加申込があった場合には、1社1名までの参加とさせていただきます。予めご了承ください。

参加申込先／同友会事務局 FAX:027-232-0666

経営指針をつくる会参加者の声

※抜粋

■自社の課題が明確に

指針づくりを通して、今まで曖昧だった会社の課題が明確になり、具体的な行動計画を立てることが出来ました。今期は行動計画に従って改善に専念し、再び経営指針をつくる会に参加しながら検証と計画づくりに、取り組んでいきたいと思っています。

■毎年参加する意義

何度も参加されている企業の完成度の高さ、考え方などがとても参考になりました。経営指針を見直し続けることの意義を理解しました。これから自社も毎年参加し、時間をかけて完成度を上げていきたいです。

■経営者としてのスタート

これまで資金繰りは社長に任せっぱなしでしたので、経営者とは言え、苦しい数字は避け、理念においても特に強い思いも持っていませんでした。そんな自分でもやりたいことが見えたように思います。「どこがわからないのかわからない…」というスタートでしたが、わからない箇所が明確になったのはかなりの進歩でした(笑)。

■幹部社員と参加して

経営指針をつくる会に参加して、多くの会社の経営指針を参考にできた事は、大きな収穫でした。その中で、自社の指針に足りないものが見えてきたような気がします。また、幹部と共に参加し、とてもいい刺激になったと思います。次年度も共に計画をつくり込んでいくつもりです。

■会社への思いがより強く

自分の考えが整理でき、よりいっそう会社を思う気持ちが強くなったと実感しています。経営指針が何かも分からずに参加しましたが、参加して本当に良かったです。毎年続けて作成するよう頑張ります。

■共に成長する姿に感動

会社の経営状況がどうなっているかが理解できるようになり、自分が何をしなければならぬかが少しずつ見えてきました。また、自分の会社を良くして行こうという経営者の方々が、共に成長している姿に感動しました。共に頑張る仲間がいるから、さらに頑張れるのだと思います。

■これからが本番

指針書を会社に浸透させるなかで色々と問題点も見えてきました。これからが本番だと感じています。そうしたプロセスを新しく参加する皆さんにもお伝えできればと思います。自分の会社が良くなること、仲間の会社も良くなることを、この会で実践していきたいです。

■必要不可欠な時間

経営指針づくりは未来を見据える作業だと思っています。未来を見るために過去を知ることとか、外部環境、内部環境、同業他社を知ることでも必要です。そして自分は何をしたいのか、ビジョンも深掘しなればなりません。この時間は必要不可欠だと思っています。

■後継者とともに

長年、継続して参加していますが、今回初めて後継者とともに参加しました。じっくり決算書を見ながら意見交換するなど、日頃の社内での慌ただしい時間とは違った時を過ごすせて有意義でした。とても感謝しています。